ヒミツの裏側 ― 秘密保護法が施行されたら

日時：2014年7月26日（土）
14：00～17：00

会場：東京土建杉並会館ホール
（丸ノ内線新高円寺下車5分）
裏に地図があります。

資料代：500円（高校生以下無料）

◎ 朗読劇 “秘密の裏側”

非戦を選ぶ演劇人の会　作・演出 相馬杜宇

◎ あの監視社会は日本の明日？

トーク

- 戒厳令下の韓国で体験したこと
  小田川興（元朝日新聞ソウル支局長）
- あの頃の東欧社会＆今のNHK
  永田浩三（武蔵大学教授、元NHKディレクター）

◎ みんなで語ろう。

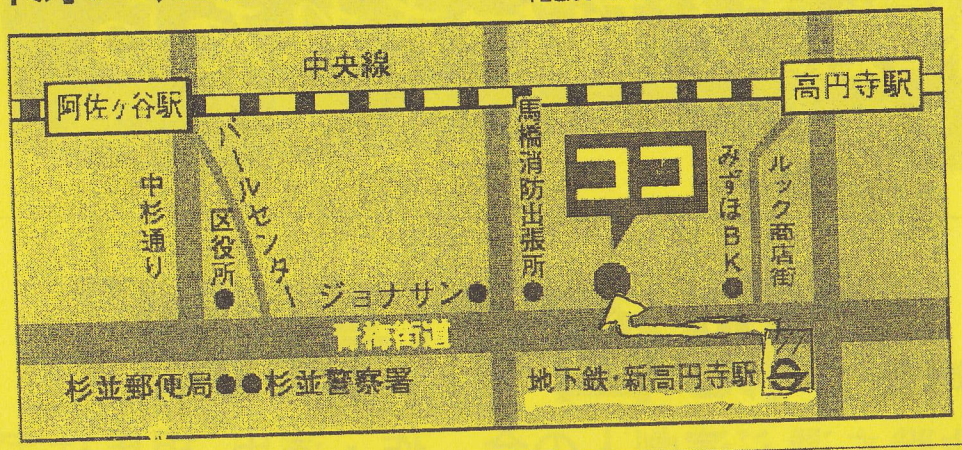
●治安維持法の下、「戦争反対」も言えなかった戦前の日本。
秘密保護法を強行採決し、「米国の戦争に従う」ための集団的自衛権容認をめざす安倍内閣はそんな社会に戻したいようです。
現代の治安維持法＝秘密保護法をストップする知恵を練りましょう！

ぜひ、ご参加ください。

主催：秘密保護法に反対する杉並アピールの会
共同代表：伊藤定良（青山学院大学名誉教授）
小林 緑（国立音楽大学名誉教授）
連絡先：090-4664-6105（深野）

東京土建杉並会館ホール

東京都杉並区高円寺南3-6-2
TEL:03-3313-1445 FAX:03-3313-7096



元自衛官も叫ぶ！

◆アクセス方法◆
・地下鉄丸の内線・新高円寺駅より
　徒歩3分～5分
・JR高円寺駅南口より
　徒歩15分

私は元自衛官で、防空ミサイル部隊に所属していました。日本に攻めて来る戦闘機を叩き落とすのが任務でした。いま私が反対している集団的自衛権とは、日本を守る話ではないんです。売られてもいない他人の喧嘩に、こっちから飛び込んでいこう、それが集団的自衛権なんです。何でそんなことに自衛隊が使われなければならないんですか。

縁もゆかりもない国に行って、恨みもない人たちを殺してこい、冗談ではありません。何でそんな汚れ仕事を自衛隊が引き受けなければならないんですか。自衛隊の仕事は日本を守ることですよ。他人の喧嘩を買いに行ったら、逆恨みされますよね。当然ですよ。だから、アメリカと一緒に戦争した国は、かたっぱしからテロに遭ってるじゃないですか。イギリスも、スペインも、ドイツも、フランスも、みんなテロ事件が起きて市民が何人も殺害されてるじゃないですか。

みなさん、閣議決定で集団的自衛権を認めてもですよ、この国の主人公は内閣と違いますよ。国民ですよ。これからが正念場です。だから一緒に考えてください。一緒に反対してください。
選挙の時は、集団的自衛権に反対している政党に投票してください。まだまだ勝負はこれからです。
戦後６９年も続いた平和を崩されてたまるもんですか。

（元自衛官が６月30日 神戸・三宮の街頭で訴えた内容の抄出）

6/28

安倍ちゃん なぜ急ぐんだ

集団的自衛権を問う

大学生のアニキが、戦時中に学徒出陣で戦地へ行ったんだ。男前で運動もできて、大学は今の一橋大だった。戦地に行く前、3歳くらいの俺をだっこして、姉とみんなで写真を撮った。笑ってるでしょ、アニキ。

うちだ・ゆうや　1950年代からバンド活動を続け、俳優としても知られる。91年、都知事選に立候補。6月に29年ぶりのシングルを発表した。

ロックンローラー 内田 裕也さん(74)

集団的自衛権のことを考えたら、アニキのことを思った。生還したけど、ものすごく荒れてたよ。ヤクザが相手だろうが、ケンカをするんだ。死ぬと思って戦地に行ってきたから、怖いものがなくなったのだろう。戦争の話は一言も言わねぇんだ。どこに行ったのかも。よっぽどの地獄を見たんだと思うんだよ。

戦場って、人間の尊厳をすべて奪う場所ですよ。アニキがかわいそうだ。理想もあって一生懸命勉強してたのに。だからね、当時の政治をミスリードした、靖国神社にまつられているA級戦犯はやっぱり犯罪者だよ。軍国主義は最悪だと思ってる。

今、日本の分岐点。メチャ重要な時だよ。自衛官が血を流すことになるかが決まるんだから。俺は反戦だけど、現在の日本周辺のパワーバランスを考えたら、いつか自分の国を守らなくてはいけなくなる時が来るかもしれない。でも、米国のやる戦争につきあわない方が良いと思う。

安倍ちゃんは、なんでこんなに急ぐのかな。簡単な問題じゃない。少なくともあと1、2年は論議が必要だよ。みんなが真剣に考えなくちゃだめだ。「パワー・トゥ・ザ・ピープル」。俺はジョン・レノンの曲をこれからも歌い続けるよ。

（聞き手・渋井玄人）

2014年6月28日付『朝日新聞』